

ちよつとしい話

～ 思 惟 ～

あるお寺の門前に「他人の事を怒ったり 家の者を叱る前に まず自分を叱り
自分を反省しよう」と書かれたポスターがありました。成る程それに違いない、
私はどうだろう、やはり実行出来てない、簡単な様で難しい事だと思いました。
空海大師も「もし自心を知るは、すなわち仏心を知るなり」と申されました。脚
下照顧のなかに私は日暮をしたいと思っていますが生活、雑務に忙殺され心を見
失う事久しからず。浄土門主、心誉康隆上人は教化指針の中で「我が身は我が物
ながら我が物ではない、誰も呼吸を止めたり内蔵の働きを停めることは出来ない。
それらは親からの頂き物、その親とても同じ事。こうして親から親と辿ってゆけ
ば、結局私達は仏様の愛し子に外ならなかったのである」と所見を述べて見えま
す。誰もが元気でいたいと願い、心ある人は神仏にも祈願をしてみえます。病氣
が気を病むならば、元氣は気を元にもどせば良い事になります。事は至って簡単
ですが自分の気が何処に有るのか探すのに一苦勞です。因みに氣とは人間を含む
一切万物の生成してくる根源の資料、生成してきた万物を形成する極微の元素で
す。お陰様で私はまだ氣を探す状態にありません、日々仏様に感謝申し上げてお
ります。 恩 威

善入院油掛地藏尊